

令和6年度愛媛県立松山東高等学校（通信制） 卒業式式辞

本日、この佳き日、第72回愛媛県立松山東高等学校 通信制課程 卒業証書授与式、並びに第59回NHK学園高等学校卒業証書授与式を挙行できますことは、我々教職員一同、この上ない喜びであり、御臨席を賜りました御来賓の皆様をはじめ、保護者の皆様方に、厚くお礼を申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました卒業生の皆さん、御卒業、おめでとうございます。皆さんが、本校での学びと出会いを通して手にした確かなものを胸に、新しい世界に羽ばたいていかれることを、うれしく思っています。

今年、直木賞を受賞された伊与原 新いよはらしんさんの小説『宙わたる教室』は公立の定時制高校の科学部が舞台、年齢や国籍、性別が多様で、いろいろな事情を抱えた生徒たちと、顧問の先生が、ともに成長していく物語です。小説の中で、アメリカの自動車会社創業者、ヘンリー・フォードの言葉が紹介されています。

「Anyone who stops learning is old, whether at twenty or eighty.」

「学ぶのをやめる人は誰でも年寄り。二十歳だろうと八十歳だろうと。」
フォードの言葉には続きがあります。「Anyone who keeps learning stays young. The greatest thing in life is to keep your mind young.」

人生の中で最もすばらしいことは心を若く保つこと、年齢を重ねても、学び続けることで、心の若さが保たれる、それが、人生の中で最もすばらしいことだと、フォードは教えてくれています。

私は、人生の旅は、学び続ける旅なのだと思います。

学び続けるためには、多くの支えが必要です。皆さんは、決して一人ではありません。皆さんを支えてくれる人がいて、皆さんも誰かの支えになっている、「ひとりじゃないんだ、がんばろう」私たち通信制のすばらしい合言葉を胸に、皆さんも、学び続けることの大切さと、それを支えてくれる人たちへの感謝の気持ちを忘れず、これからの生活を、日々、充実させてください。

学び続ける人生の旅。そこでの皆さんの奮闘を、心から応援しています。

保護者の皆様、お子様の御卒業、誠におめでとうございます。親の思いを詠んだ俵万智さんの短歌があります。

「最後とは知らぬ最後が過ぎてゆく その連続とと思う子育て」

これまで様々な御苦労や御心配をしてこられた保護者の皆様には、今、万感の思いでおられることと存じます。これまで、お子様を支えてこられた皆様に敬意を表しますとともに、改めて、心からお喜びを申し上げます。

卒業生の皆さん。いよいよ旅立ちです。私は、皆さんと同じときを、この松山東高校で過ごせたことを誇りに思います。皆さんは、私たち教職員にとって、また、地域や社会にとって、かけがえのない存在です。

皆さんの今後の御健康と御活躍を心からお祈りし、式辞といたします。

卒業、おめでとう。

令和7年3月2日

愛媛県立松山東高等学校長 沖田浩史